

川田テクノロジーズ株式会社(3443)
2018年3月期決算説明会

2018年5月31日

第1部

18 / 3期の業績
と
19 / 3期の見込

18 / 3期の業績

18/3期の業績

(百万円)	17/3	18/3	
	実績	実績	前期比
売上高	103,473	107,250	+3.7%
売上原価	90,171	94,633	+4.9%
売上総利益	13,301	12,616	△5.1%
販管費	7,396	8,180	+10.6%
営業利益	5,904	4,436	△24.9%
経常利益	8,701	4,586	△47.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,140	4,070	△50.0%

■ 増収減益も、
業績は堅調に推移

売上高と営業利益（セグメント別）

(百万円)		17/3期	18/3期
セグメント		実績	実績
売上高	鉄 構	45,940	52,788
	土 木	28,921	31,266
	建 築	18,308	12,818
	その他	12,101	12,563
営業利益	鉄 構	4,161	3,771
	土 木	914	1,871
	建 築	2,306	825
	その他	200	△26

- 鉄構セグメント
増収ながら、設計変更の獲得が減少し減益
- 土木セグメント
豊富な繰越高と大型工事の竣工に伴う設計変更の獲得により増収増益
- 建築セグメント
工事進捗が早く採算性の高いシステム建築の割合の減少に伴い減収減益

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

受注実績と繰越高 (セグメント別)

(百万円)		17/3期	18/3期	前期比
受注実績	鉄 構	47,312	62,606	+32.3%
	土 木	30,809	29,058	△5.7%
	建 築	18,297	18,235	△0.3%
	その他	11,973	12,277	+2.5%
	合計	108,392	122,177	+12.7%
繰越高	鉄 構	76,652	86,469	+12.8%
	土 木	34,689	32,481	△6.4%
	建 築	11,847	17,264	+45.7%
	その他	1,379	1,093	△20.8%
	合計	124,568	137,307	+10.2%

■ 過去最高の
受注高を獲得

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

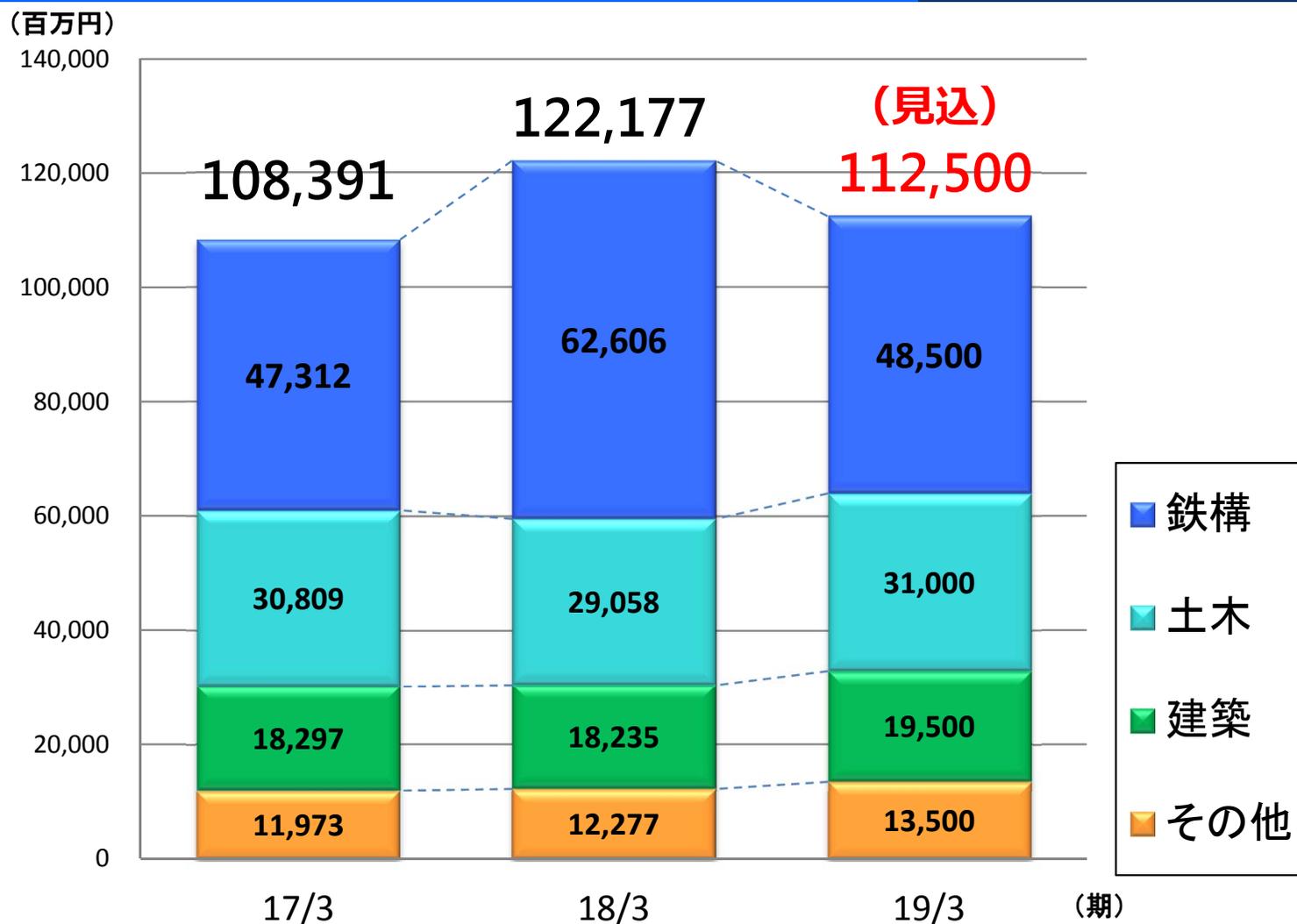
19 / 3期の見込

19/3期の見込

(百万円)	19/3	
	見込	前期比
受注高	112,500	△7.9%
売上高	120,000	+11.9%
売上原価	108,000	+14.1%
売上総利益	12,000	△4.9%
販管費	7,800	△4.6%
営業利益	4,200	△5.3%
経常利益	4,000	△12.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,500	△38.6%

- 受注高は市場環境及び手持ち工事高を勘案し、
微減
- 売上高は豊富な繰越高を受け増収
- 損益は原材料費他のコスト上昇で減益

受注高の推移（セグメント別）



- 新設橋梁事業は引き続き緩やかな減少傾向
- 床版取替工事を中心に大規模更新事業が本格化
- 東京五輪案件は一段落も、大規模再開発案件の需要は堅調に推移

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

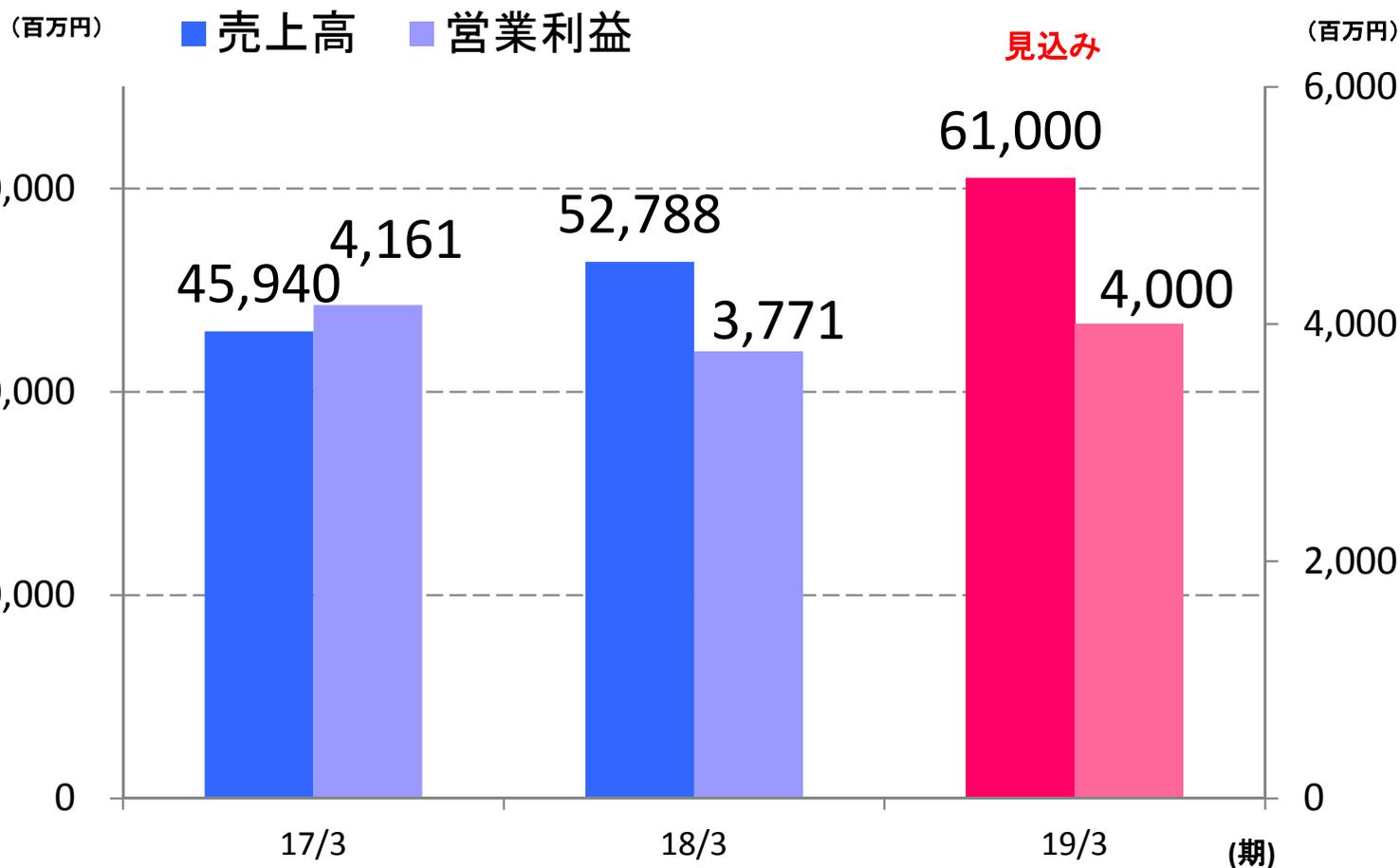
売上高と営業利益（セグメント別）

セグメント		19/3期		
		見込	増減額	前期比
売上高	鉄 構	61,000	+8,212	+15.6%
	土 木	30,000	△1,266	△4.0%
	建 築	21,000	+8,182	+63.8%
	その他	12,000	△563	△4.5%
営業利益	鉄 構	4,000	+229	+6.1%
	土 木	1,200	△671	△35.9%
	建 築	1,200	+375	+45.5%
	その他	300	+326	+1253.8%

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

売上高と営業利益（鉄構セグメント）

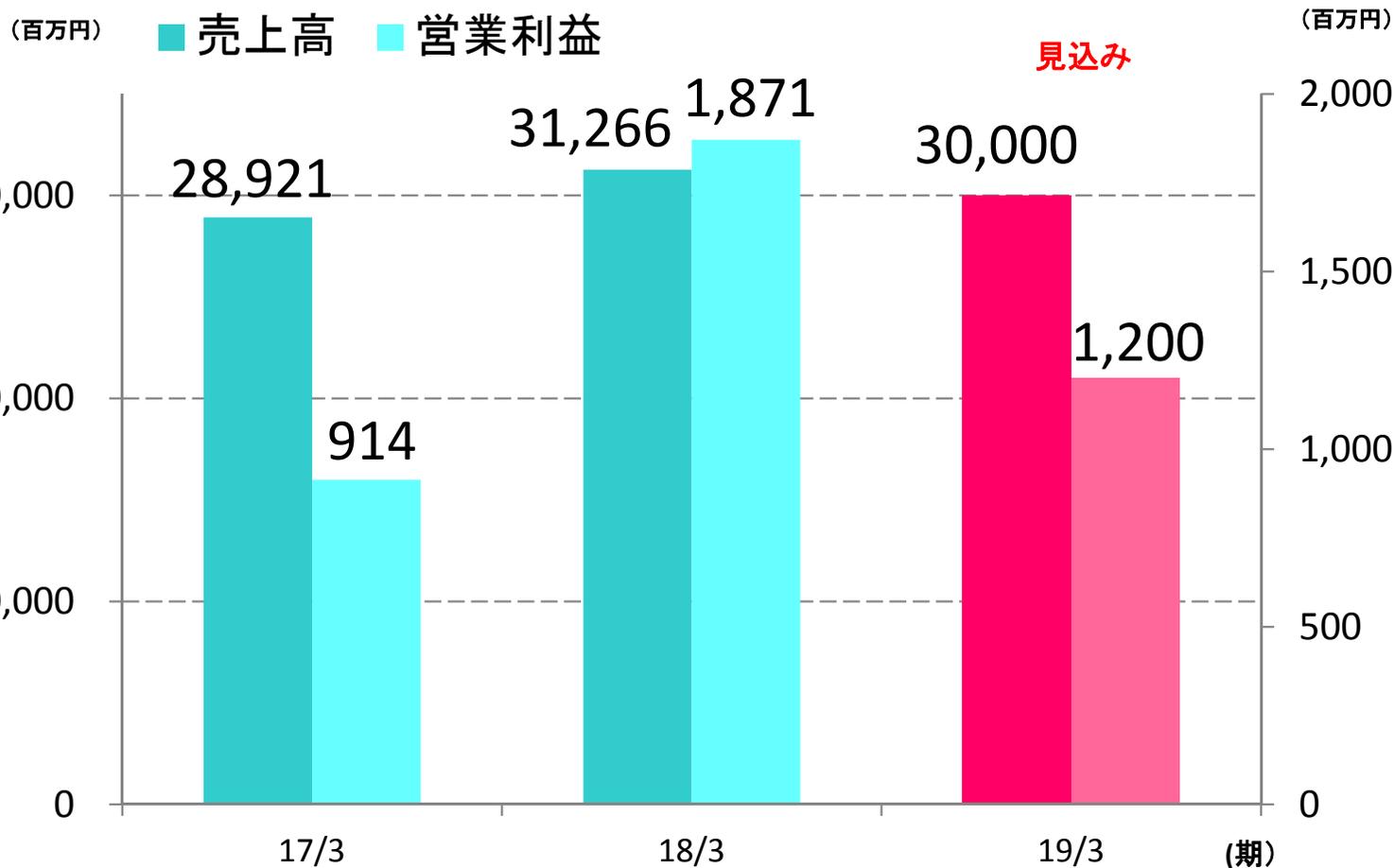
19/3期の見込 売上高 61,000百万円
営業利益 4,000百万円



- 豊富な繰越高を背景に大幅な増収
- 営業利益は前期を上回る水準を目指す

売上高と営業利益（土木セグメント）

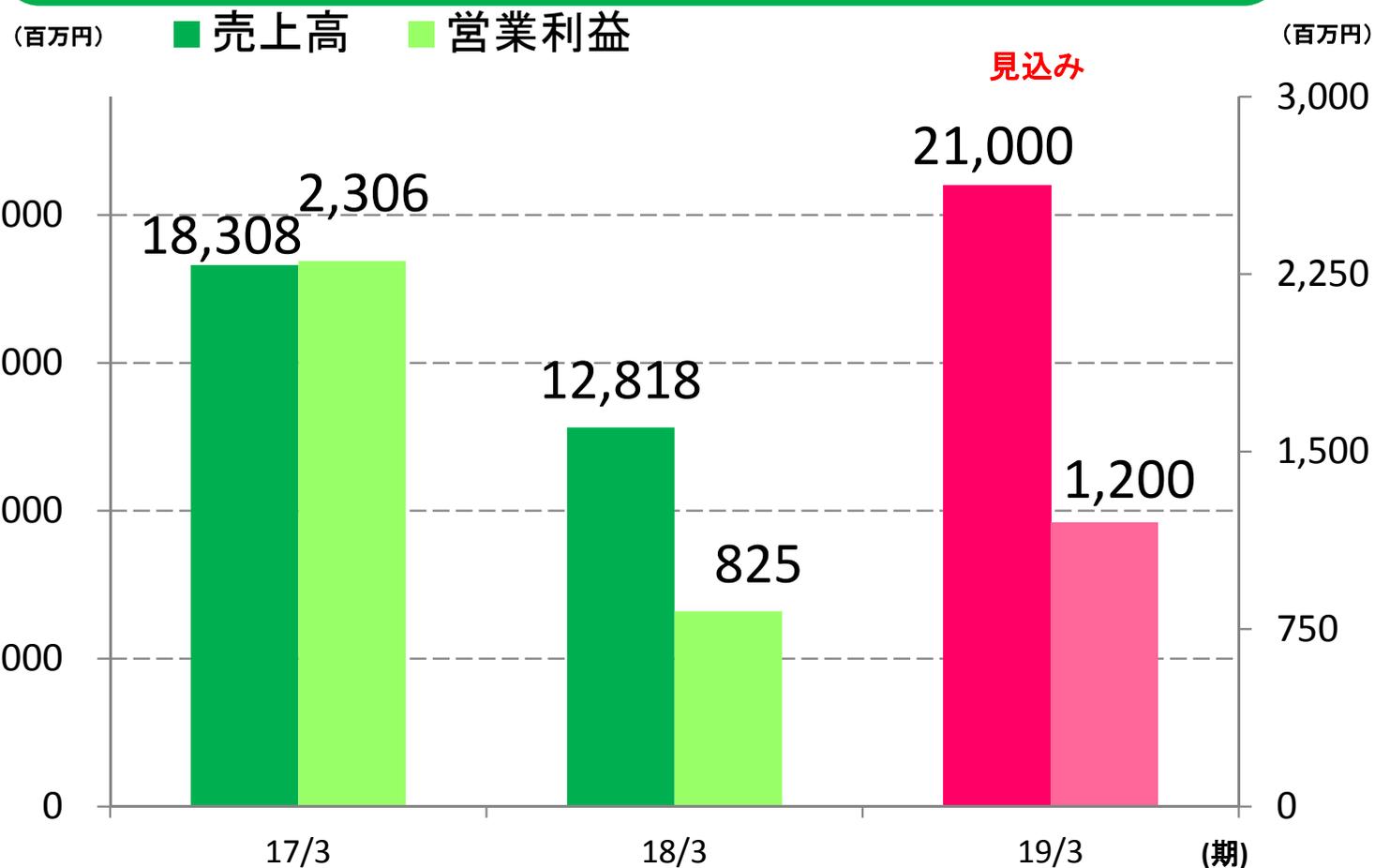
19/3期の見込 売上高 30,000百万円
営業利益 1,200百万円



- 売上高は前期同水準を維持
- 営業利益は新設における大型工事の減少により減益

売上高と営業利益（建築セグメント）

19/3期の見込 売上高 21,000百万円
営業利益 1,200百万円

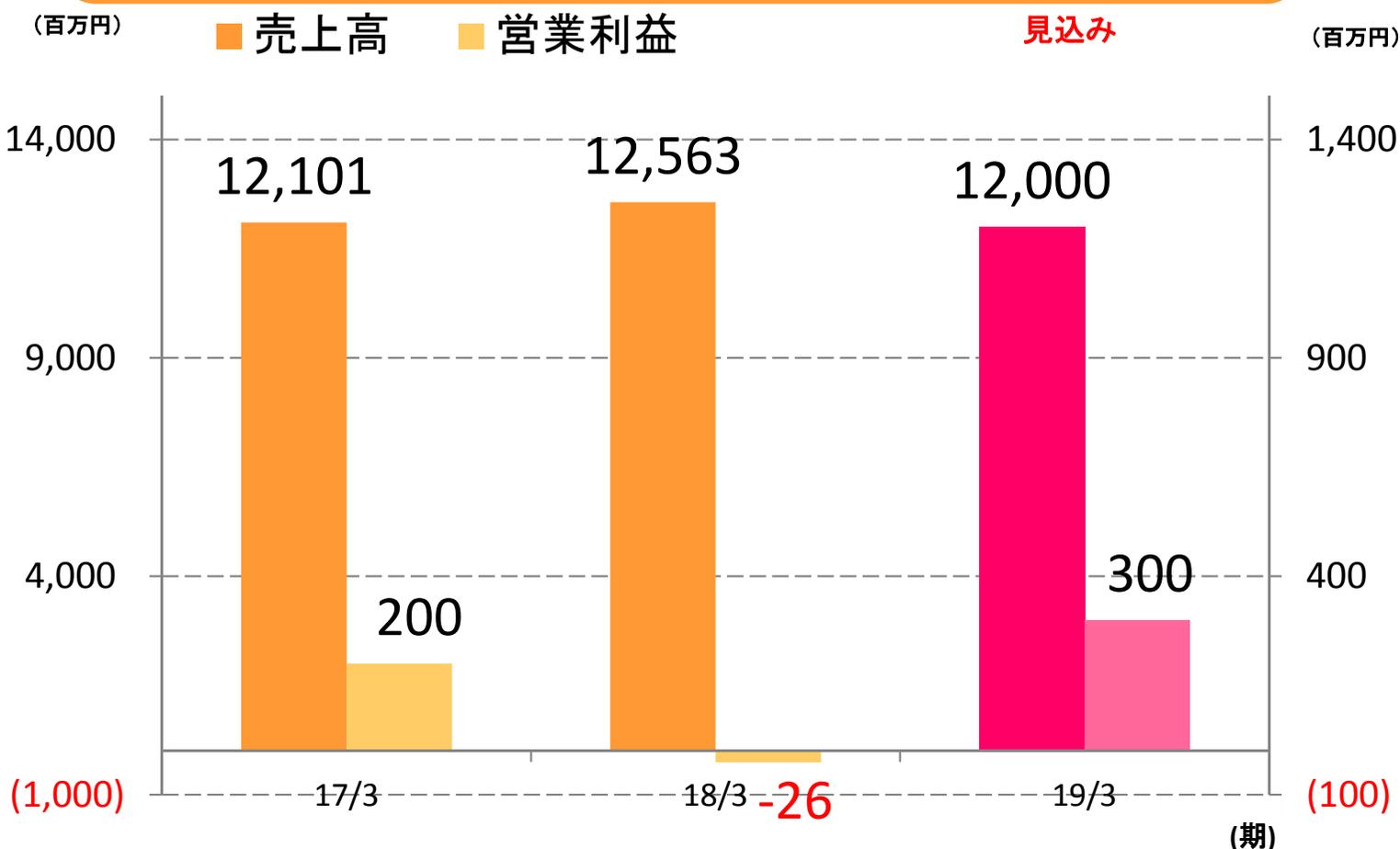


- 豊富な繰越高を背景に大幅な増収
- 増収効果による増益に加え、原価低減での上積みを目指す

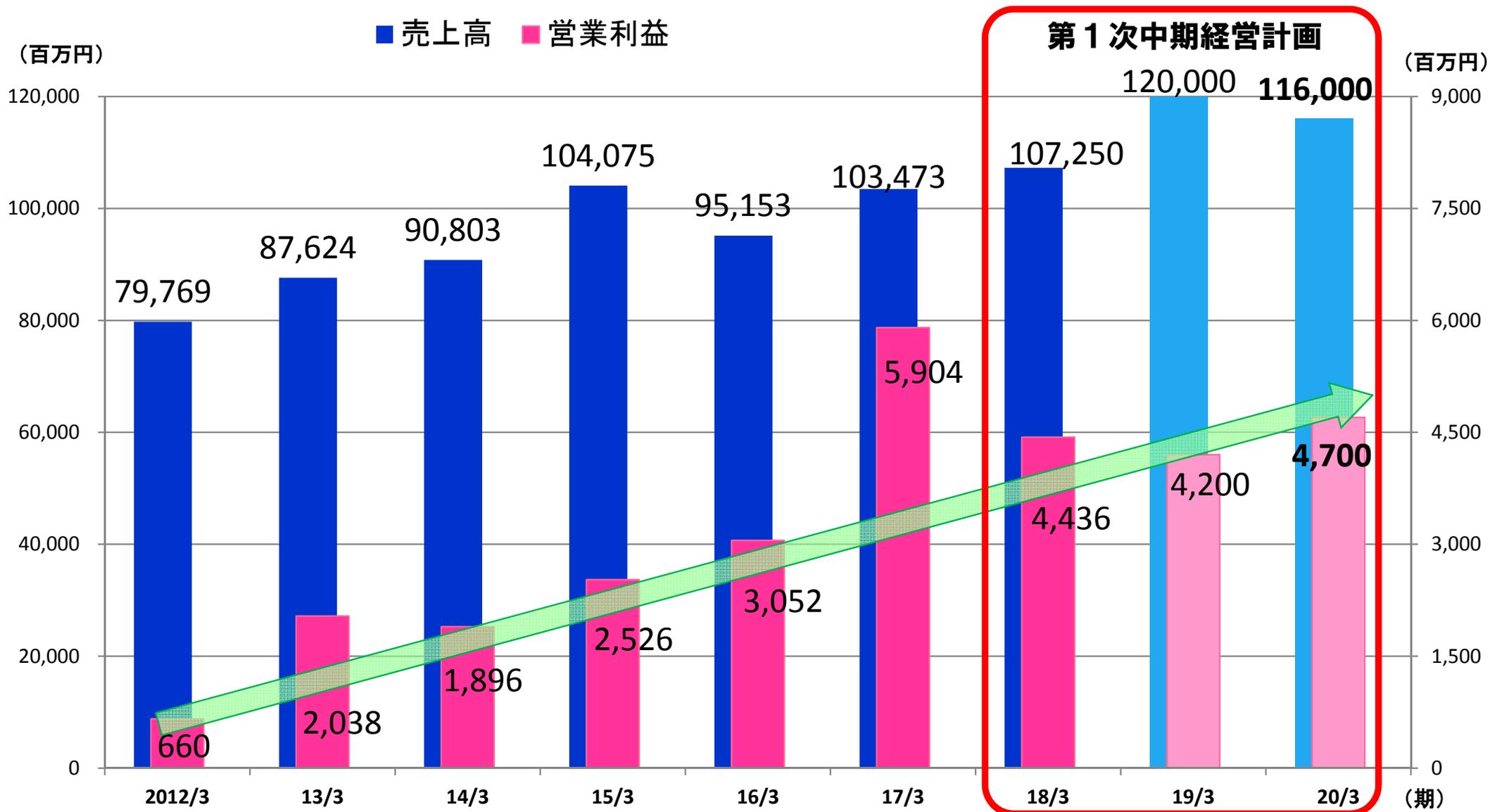
売上高と営業利益（その他）

19/3期の見込 売上高 12,000百万円
営業利益 300百万円

- 売上高は前期同等水準を維持
- 3億円の営業利益を目指す



売上高と営業利益の推移



60円の配当を継続

第2部

当社の主な取り組み

- ① 既存事業における収益力の強化と効率化への投資
- ② 経営基盤の強化
- ③ 新しい成長領域の構築
- ④ 人材育成と組織能力の向上

① 既存事業における収益力の強化と効率化への投資

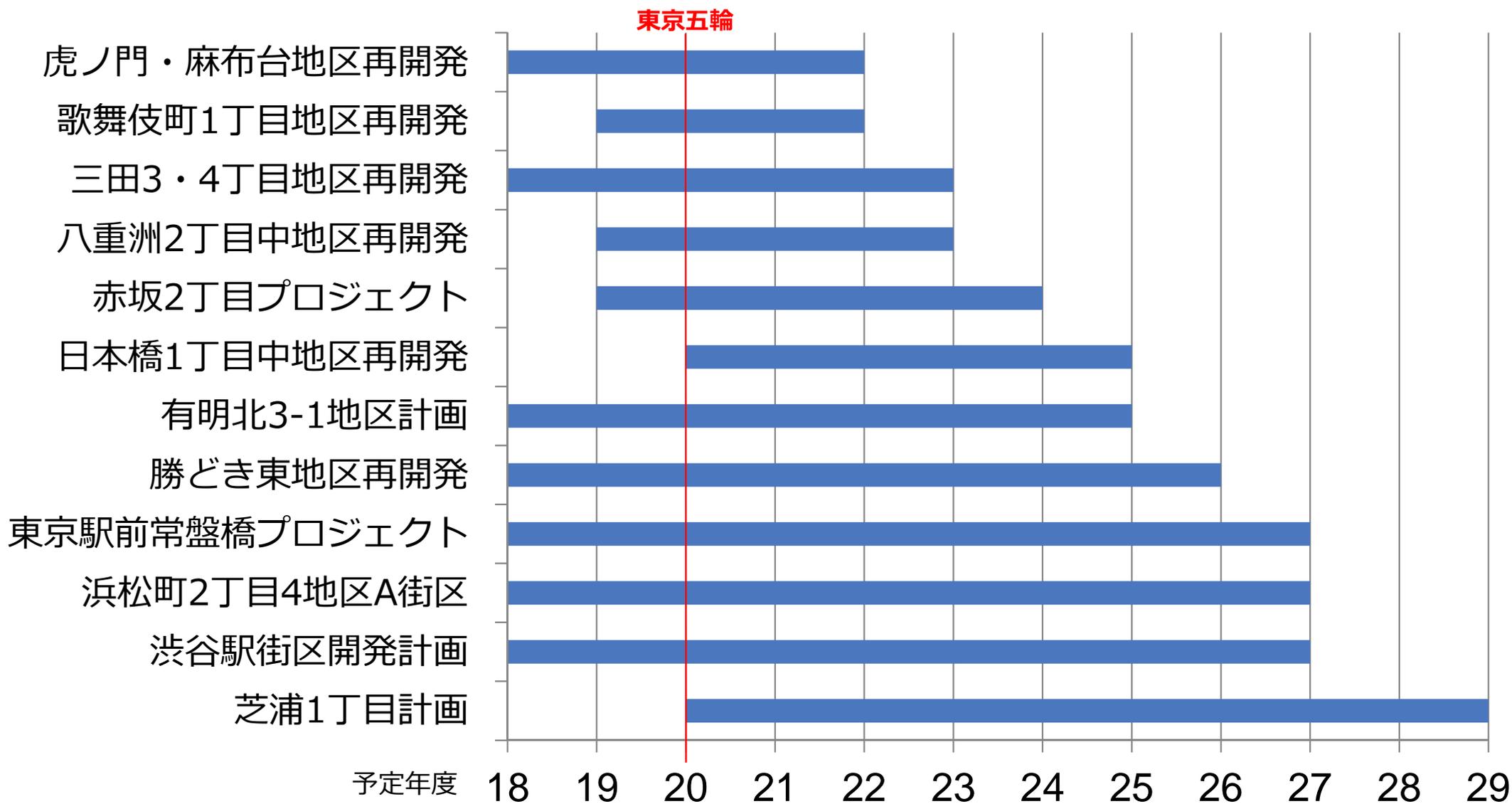
② 経営基盤の強化

③ 新しい成長領域の構築

④ 人材育成と組織能力の向上

「建築鉄骨市場」 の動向と 当社の取り組み

東京五輪後に竣工予定の主なプロジェクト



首都圏の複数の再開発計画により 大規模物件の建設需要は堅調に推移

【東京駅エリア】

2024年 八重洲側に大規模バスターミナル

【虎ノ門エリア】

2020年 日比谷線新駅 2022年 新駅ビルと駅前広場

3) 東京駅前の交通結節機能の強化

① 国際空港や地方都市を結ぶ大規模バスターミナルの整備

<整備内容>

- 国際空港直行バス、主要都市を結ぶ高速バス(10路線以上)の発着するバスターミナルの整備 (2地区 約13バス(約10,000㎡)、3地区 合計約20バス)
- 歩道上に分散する高速バス停留所をバスターミナルに集約し、歩行者の環境を改善、乗換え利便性を向上
- 空港の24時間化に対応したラウンジ等の整備、多言語対応等による利便性の向上

■東京駅周辺のバス交通の状況

■現況の課題

- 地区内に集約を想定しているバスターミナル
- 高速バス停留所
- 区画整理済みの高速バス
- 路線専用
- その他の既存バスターミナル
- 高速バス停留所
- 路線バス停留所

道路上にバス停留所が分散し、乗降客により歩道が混雑している。

■整備イメージ

八重洲一丁目6地区バスターミナル (約7万㎡、約5,000㎡)

八重洲二丁目1地区バスターミナル (約6万㎡、約5,000㎡)

八重洲二丁目中地区バスターミナル (約7万㎡、整備予定)

八重洲地下街

JR東京駅

付帯施設の整備

- バスターミナル案内
- ラウンジ
- プラットフォーム

※整備施設・位置は利用者の利便性を考慮しつづ、今後詳細を検討

● 地下鉄駅と地上・地下の歩行者ネットワークイメージ

● 都市再生特別地区の区域(本計画)

● 民間敷地を活用した虎ノ門駅のプラットフォームの拡充
● 地下・地上駅前広場の整備

地下鉄日比谷線新駅と虎ノ門駅に直結するバスターミナルの整備

愛宕方面につながる歩行者デッキの整備

歩行者デッキ(2階)

バスターミナル(1階)

地下歩行者通路(地下1階)

地下・地上駅前広場(地下1階・1階)

虎ノ門駅プラットフォームの拡充(地下1階)

地下鉄日比谷線新駅の整備と併せた周辺市街地を結ぶ歩行者ネットワークの形成

日比谷線新駅(今回決定)

虎ノ門ビル

愛宕山周辺計画(地区)

愛宕山

愛宕下り

区画1166号線

区画1013号線

日比谷線

日比谷線(今回決定)

虎ノ門ビル

バスターミナル

歩行者デッキ

地下歩行者通路

日比谷線新駅(今回決定)

虎ノ門駅

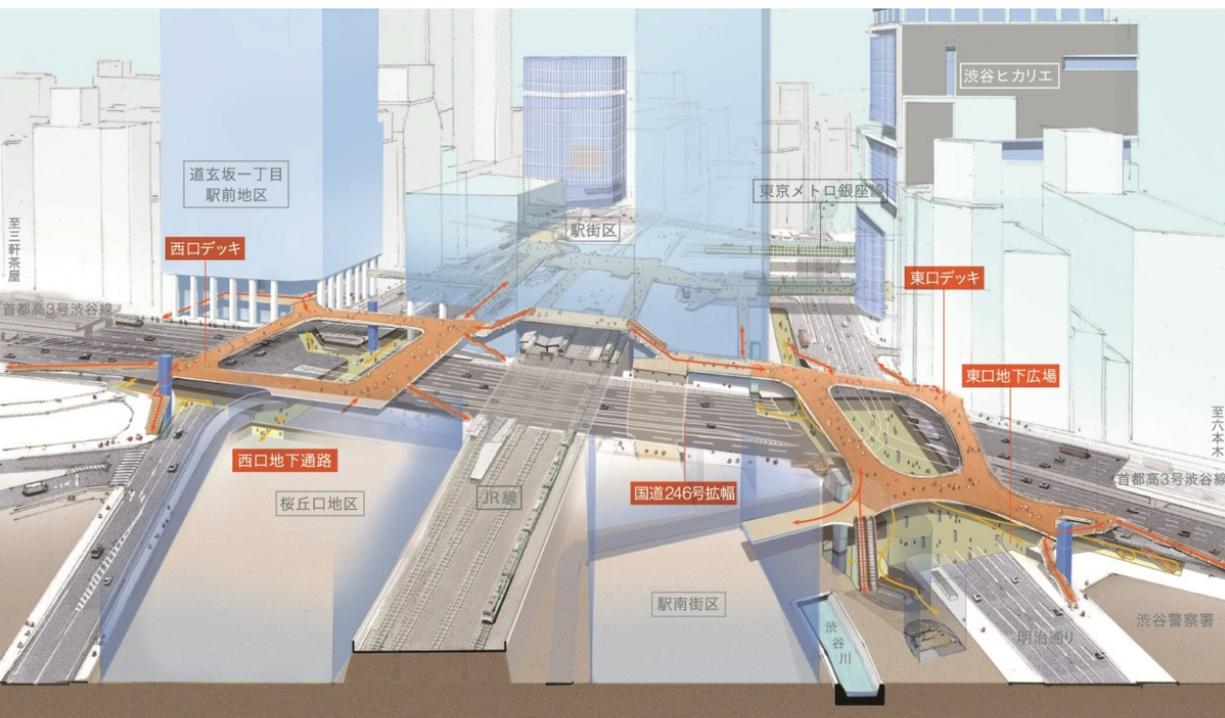
※首相官邸サイトから引用

※首相官邸サイトから引用

市場動向：首都圏の主な再開発計画②

【渋谷エリア】

2028年 渋谷駅と直結商業施設の全街区完成
地下広場と東西歩行者通路



※整備イメージ（今後の検討により変更の可能性があります。）

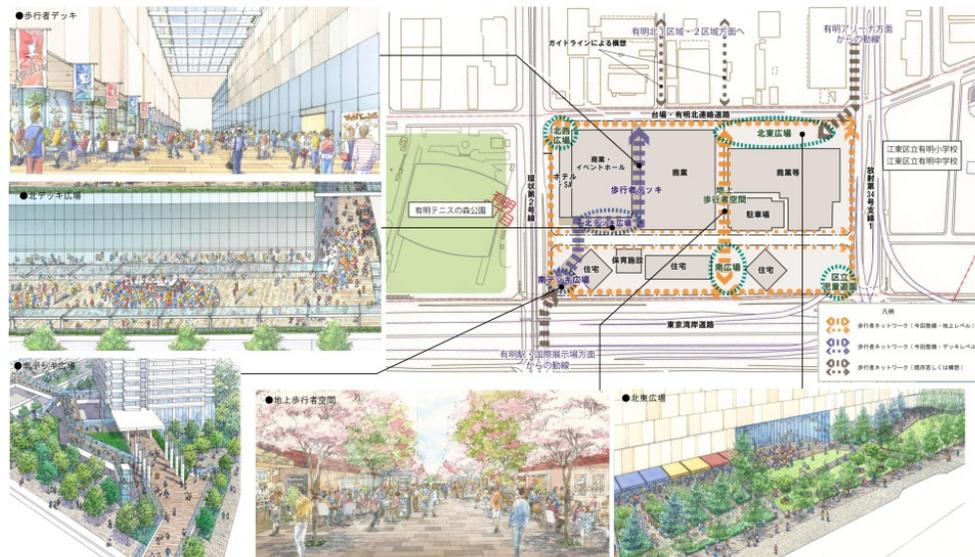
【有明エリア】

2026年 有明北地区の全街区完成
南北市街地を横断する歩行者デッキと広場

来街者を惹きつける、賑わいと緑の街並みネットワークの形成

■ 整備方針

- 有明南地区や国際展示場駅・有明駅と、有明北地区とのレベル差を解消し、南北市街地の歩行者ネットワーク強化を図るため、当地区を縦断する歩行者デッキを整備する。また、地上レベルにおける南北歩行者ネットワークとして、地上歩行者空間を整備し、複層的なネットワークの形成を図る。
- 上記の南北歩行者ネットワークと連携しながら、賑わいの核となる広場空間や緑豊かな広場空間を整備し、来街者を惹きつける賑わいと緑の街並みネットワークを形成する。



- 5 -

※国土交通省サイトから引用

※首相官邸サイトから引用

市場動向：首都圏の主な再開発計画③

【品川・田町エリア】

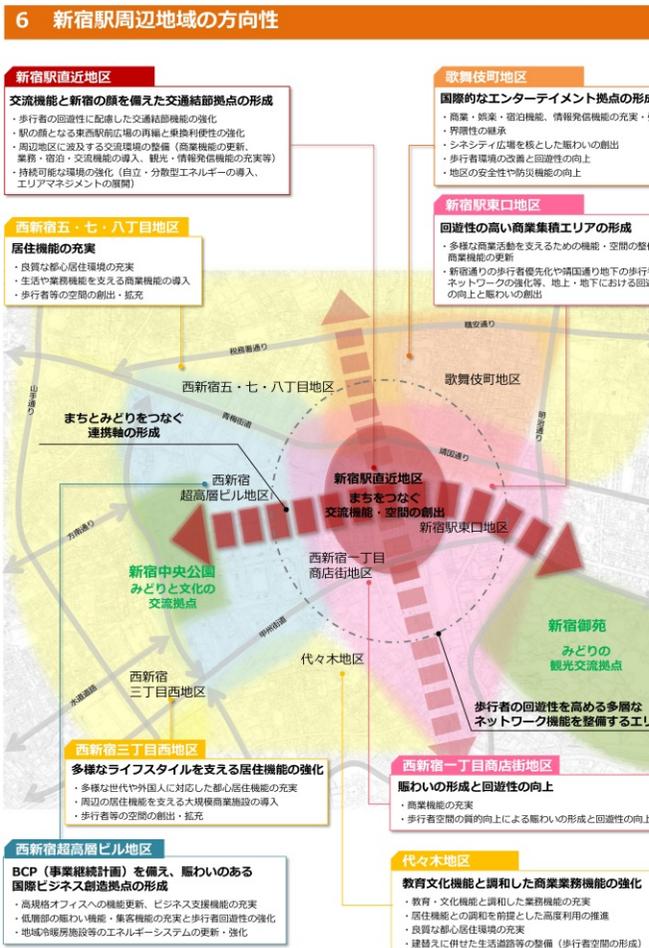
2020年 JR山手線新駅 2027年 リニア中央新幹線



※東京都サイトから引用

【新宿エリア】

2020年代 新宿駅東西通路と広場



10

※東京都サイトから引用

当社の施策：栃木工場ボックスライン増強

2017年3月 新建屋完成

2017年12月 ボックス製造ライン稼働



生産能力アップ（1.5倍）



■ ボックス製造ライン増強

自動化の推進

処理能力の拡充



☑生産能力の向上

☑コストの削減

☑競争力の向上

■ 鉄骨製作工場で最高水準である Sグレード大臣認定を3工場で継続取得

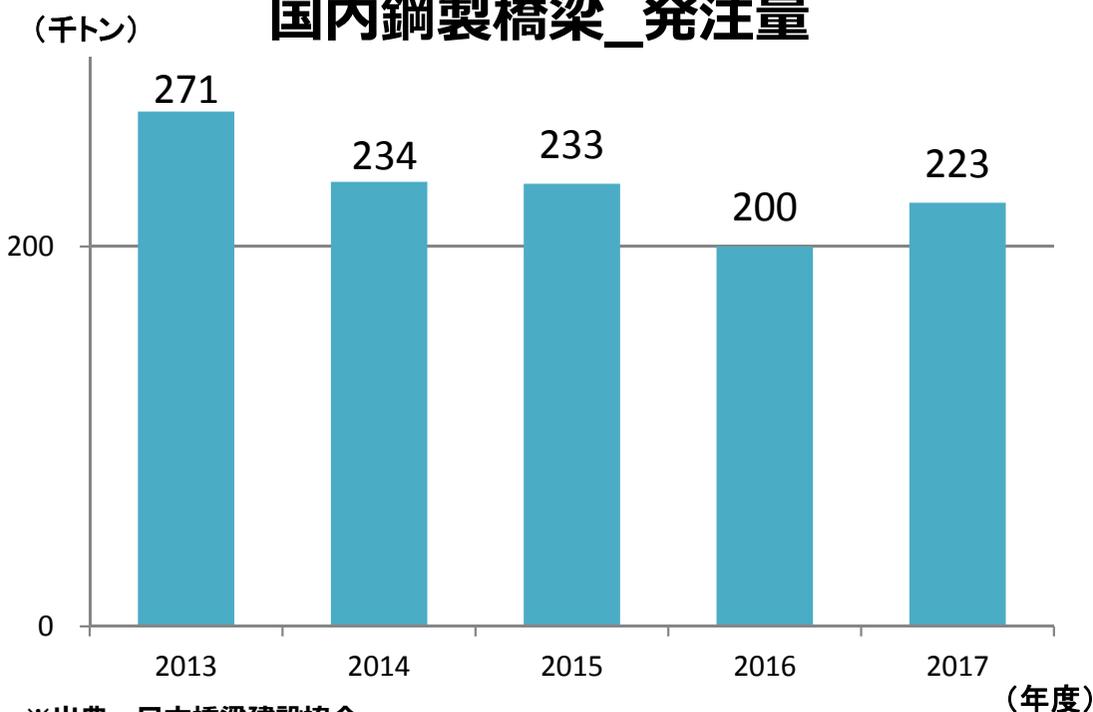
■ 製作から建方までの一貫体制の強化

「橋梁市場」 の動向と 当社の取り組み

鋼製橋梁の新設市場は ほぼ横ばい

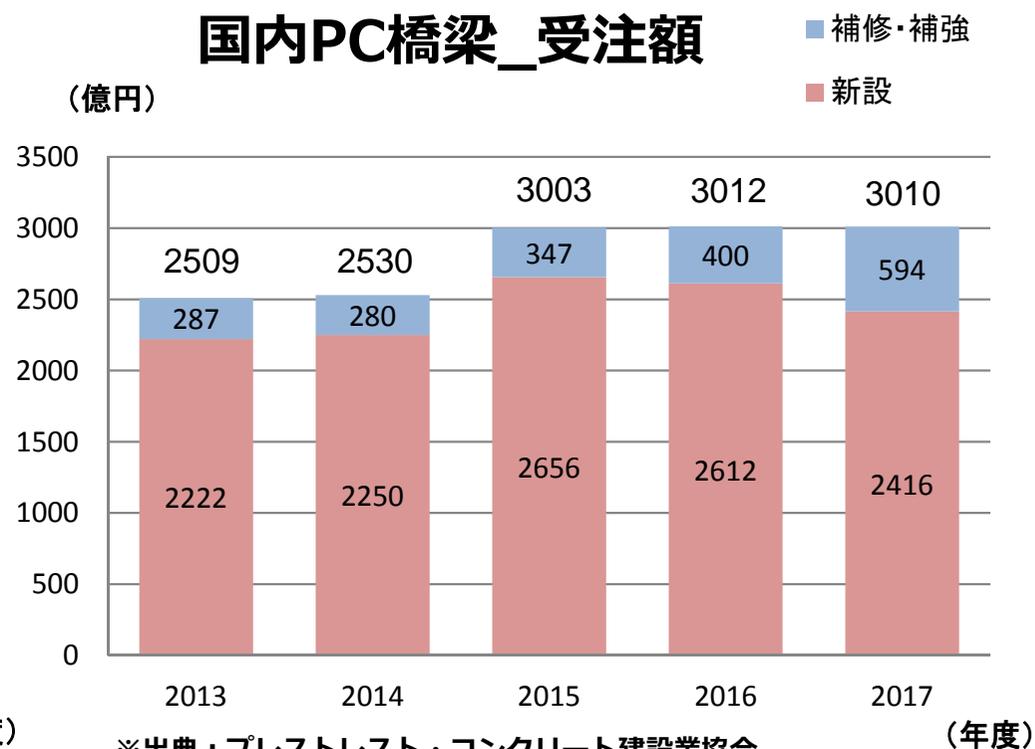
PC橋梁の市場は 新設から補修・保全へ

国内鋼製橋梁_発注量



※出典：日本橋梁建設協会

国内PC橋梁_受注額



※出典：プレストレスト・コンクリート建設業協会

市場動向：大規模更新・大規模修繕事業

～巨大市場の開幕～ 数兆円の床版工事に注目

東日本、中日本、西日本高速道路会社
【大規模更新】

RC床版の取り替え：224km(約1000橋)

【大規模修繕】

高性能床版防水など：359km(約5000橋)

約1兆
8000
億円

国土交通省(既設橋)

【速やかな補修が必要な橋梁数】

RC床版の補修：約2100橋

鋼床版の補修：370橋

国土交通省東北地方整備局
(復興道路)

床版の新設：約14km

約
3800
億円

首都高速道路会社
【大規模更新】

RC床版の取り替え：8km

【大規模修繕】

鋼床版の補修など：55km

本州四国連絡
高速道路会社
【大規模修繕】

高性能床版防水、
脱塩など：約10km

約90
億円

約1500
億円

阪神高速道路会社
【大規模更新】

RC床版の取り替え：3.1km(約100径間)

【大規模修繕】

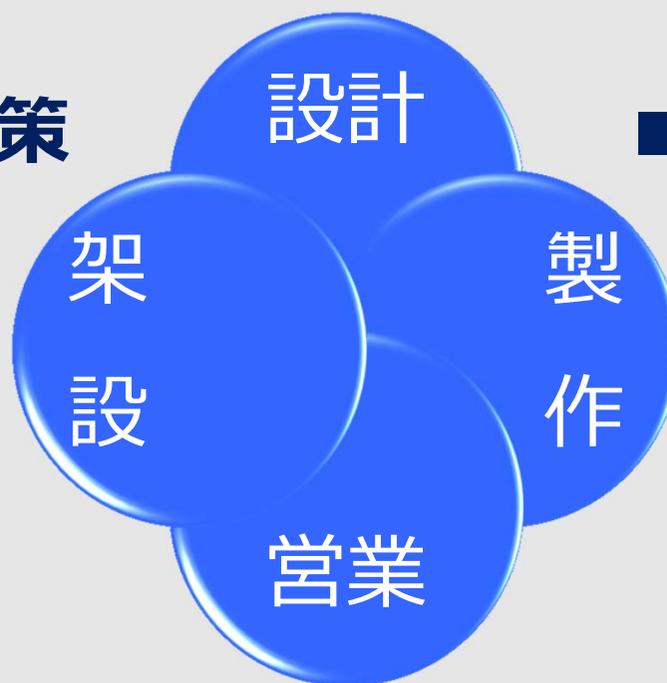
RC床版の補修など約1100径間

鋼床版の補修など約300径間

新設市場で一定のボリュームを確保

技術提案力の向上

- 鉄構セグメントの対策
橋梁企画部の拡充による提案力の強化
(川田工業)



- 土木セグメントの対策
支店のフラット化による機動力の強化
(川田建設)

現業部門と企画部門の一体化

保全事業の受注拡大

2017年度の主な受注実績 【鉄構セグメント】

- ・ 豊里大橋耐震補強工事
（発注者：宮城県）
- ・ 吉野川大橋補修
（発注者：国土交通省四国地方整備局）
- ・ 犀川大橋補修工事
（発注者：国土交通省北陸地方整備局）
- ・ 池袋線補修1-207
（発注者：首都高速道路）

2017年度の主な受注実績 【土木セグメント】

- ・ 大分自動車道 野田第一橋他耐震補強工事
（発注者：西日本高速道路）
- ・ 東北自動車道 迫川橋床版取替
（発注者：東日本高速道路）
- ・ 東名高速道路 沼津IC,富士IC間床版取替
（発注者：中日本高速道路）
- ・ 高速都心環状 上部工補強工事1-204
（発注者：首都高速道路）

グループの強みを活かし、橋梁保全のあらゆるニーズに対応

主な実績：高速道路の大規模更新工事

【鋼製橋梁】

高速1号羽田線
(東品川栈橋・鮫洲埋立部) 更新工事
迂回路 (写真左側) 設置 (2017年)
発注者：首都高速道路株式会社



【PC橋梁】

早月川橋床版更新工事
(北陸自動車道) (2017年)
発注者：中日本高速道路株式会社



① 既存事業における収益力の強化と効率化への投資

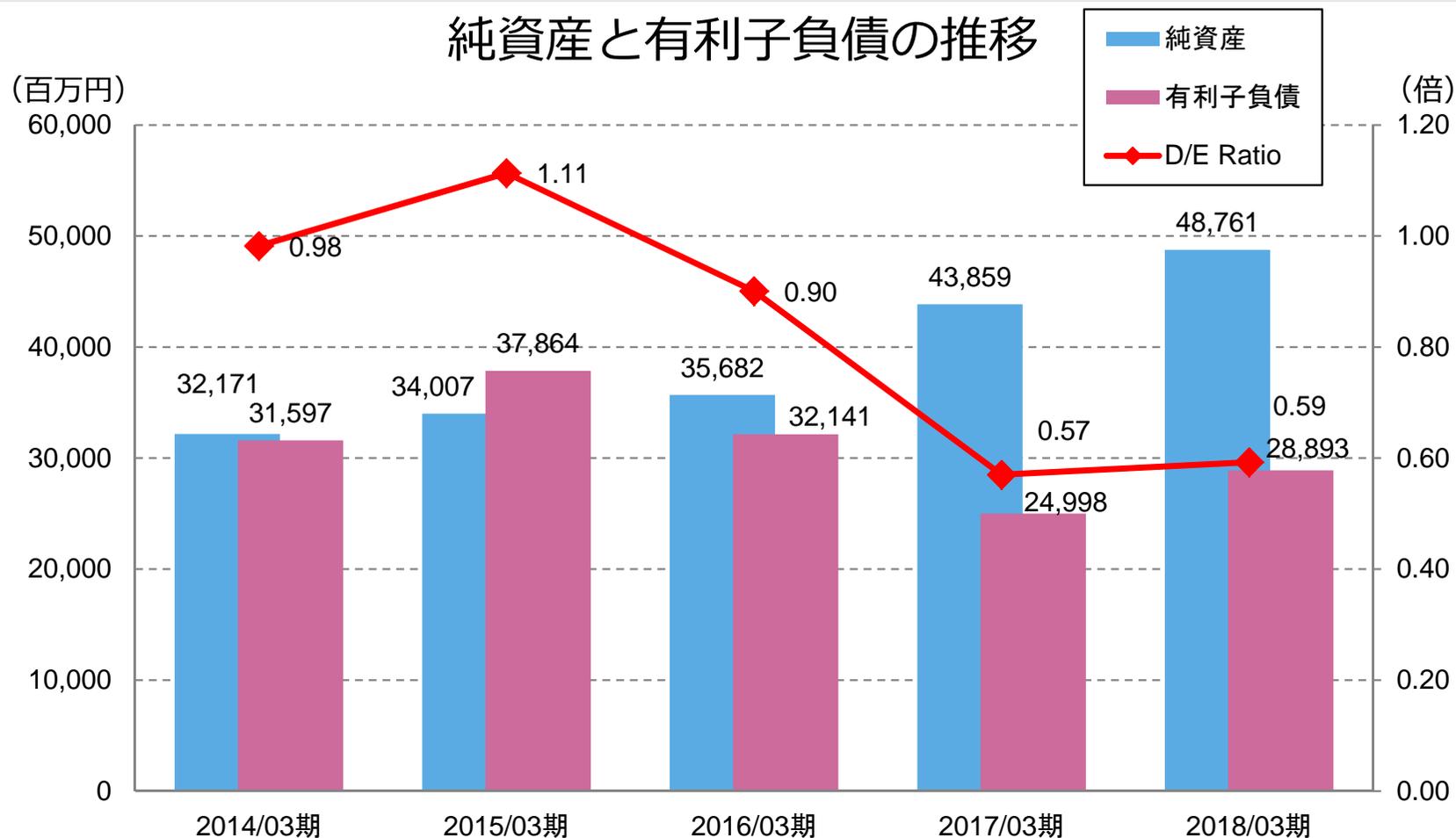
② 経営基盤の強化

③ 新しい成長領域の構築

④ 人材育成と組織能力の向上

当社の施策：経営基盤の強化に向けて

- 自己資本の充実
- 有利子負債の削減



① 既存事業における収益力の強化と効率化への投資

② 経営基盤の強化

③ 新しい成長領域の構築

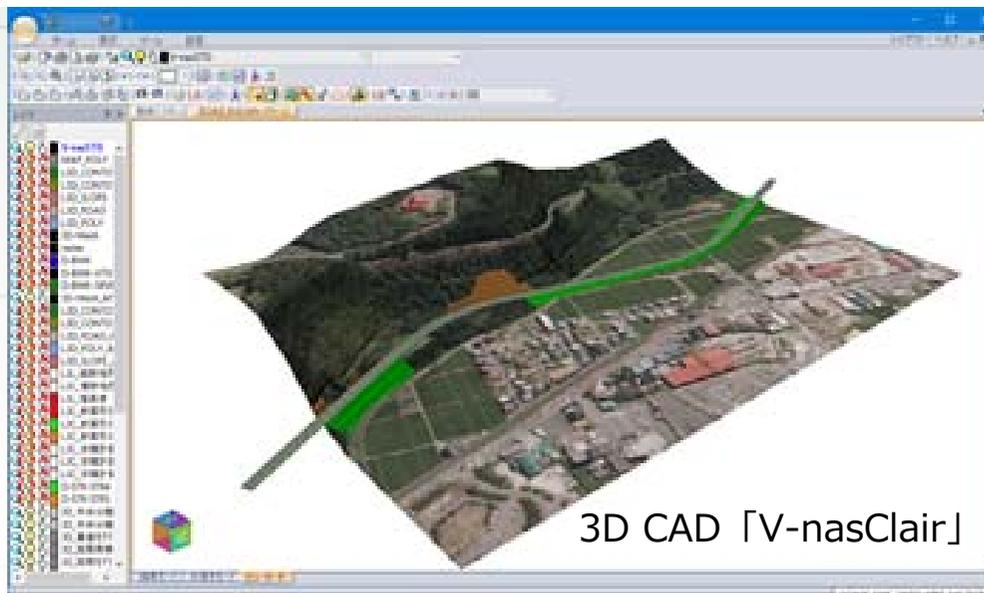
④ 人材育成と組織能力の向上

基盤事業と先進技術の融合、そしてさらなる成長



人と共存して働く
ヒト型ロボット

「NEXTAGE」



3D CAD 「V-nasClair」



橋梁点検用ドローン「マルコ」



ハイパー・ブレース



トンネル中床版

ハイパー・ブレース（座屈拘束ブレース）とは
軸力を伝達する芯材（鋼材）が座屈しないように
拘束材（鋼モルタル板）で補剛されたブレース材です。
低層階向け耐震用ブレース、高層階向けの制振用ブレース
の両方に使用できます。

富山工場事務所棟のハイパーブレース



ハイパー・ブレースの特長

① 自由にコンパクトな断面

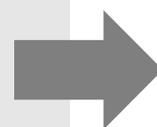
見た目が細くてすっきりした外観
真四角、細長い断面が可能で自由度が高い

② 優れた品質

空隙なくモルタル打設が可能
クリアランス寸法の確認を確実に実行可能

当社の施策：新たな鋼構造物の製作拡充

海洋鋼構造物（ジャケット）
沈埋函（海底トンネル）
トンネル中床版
工場所在地周辺の保全ビジネス



安定した工場操業を確保



海洋鋼構造物（ジャケット）



トンネル中床版



沈埋函（海底トンネル）

- ① 既存事業における収益力の強化と効率化への投資
- ② 経営基盤の強化
- ③ 新しい成長領域の構築
- ④ 人材育成と組織能力の向上

多様な人材の育成

- ・ 社員の教育・研修に注力
- ・ 若手社員の人事ローテーション制度の拡充

技術の継承

- ・ 新卒採用の採用数増と定着率のアップ
- ・ 定年の延長や再雇用後の処遇改善

当社の施策：作業環境の改善

川田工業、富山工場と四国工場の事務所棟を新設 川田建設、関東機材センターを工場隣接地に新設

- ・ 快適な職場環境
- ・ 文書管理システムの導入
- ・ 動線の効率化、作業効率の改善



川田建設 関東機材センター



四国工場 新事務所棟（完成予想図）



富山工場 新事務所棟

安心で快適な生活環境の創造



本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

広報室 koho.kti@kawada.jp